

関東大震災 教訓学ぼう

97年前に起きた関東大震災の教訓を学び、今後の備えや復興のありようを考えるイベントが9月1日、東京、横浜でそれぞれスタートする。専門家の講演や写真展などが予定されている。

東京では6日まで、震災から90年の2013年に始まった「首都防災ウィーク」を今年も開催する。新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえて形式を



更し、地域防災の専門家による講座や震災関連の記録映像、無観客の音楽祭などをオンラインで連日配信。ビデオ会議アプリ「Zoom」を活用した「みらくるTV」で視聴できる。

6日には、関東大震災研究の第一人者である名古屋大の武村雅之特任教授らが復興事業で整備された公園をテーマに講演。コロナ禍における首都直下地震や巨大水害をテーマにしたフォーラムも配信する。

実行委員会の木谷正道事務局長は震災100年への継続を見据え、「東京都慰霊堂に集う従来の形式とは違うが、内容はむしろ充実した。来年以降は両方

専門家講演や写真展… きょうから東京、横浜

のスタイルを組み合わせた」と話している。

また、横浜市民防災センター(神奈川県)では、写真展を7日まで実施。震災に関する調査研究を続ける市民団体「シオ神奈川」の主催で、被災地を空撮で捉えた写真を中心に紹介する。

ただ、センターは感染防止のため利用を制限しており、災害シアターなどの体験ツアーを予約した人のみ展示を見学できる。

首都防災ウィークの詳しいプログラムや参加方法は公式サイトで。問い合わせは、木谷さん ☎080(7991)4761。震災写真展については、横浜市民防災センター ☎045(411)0119へ。

(渡辺 渉)